

第6回 わがまち調布の輝き女性^{びと}



市内で個性と能力を発揮して、素敵に働く女性を紹介します。

今回は、コミュニティーハウス「もえぎ家」を運営する曾根かな子さん取材しました。

「もえぎ家」は、庭に朴^{ほお}の木があり、葉を使って^{ほお} 朴葉^ぼ焼きを作ったり、藍染に使う仕込み中の藍は、常に温度を一定に保ち発酵を維持するため、

電気毛布を使って熟成中でした。玄関には、地域の情報誌が置かれ、窓には手づくりの草木染めのカーテン、風がガラス戸をたたく音がカタカタと鳴り、外の気配を感じながら、取材ができました。

「もえぎ家」をはじめたきっかけは何でしたか？

もともと、この家は、知り合いの方が住んでいて、ざっくばらんに話ができるイベントを開いていました。私も近所に住んでいて、ここで開催されるイベントに参加していて、趣があるこの家で季節ごとにイベントをやるのが素敵だなと感じていました。この家の持ち主が引っ越すことになり、譲り受け、自宅でやっていたタイ古式マッサージのサロンをここで始めることにしました。



朴の木

タイ式マッサージのほかに「もえぎ家」では、何をされているのですか？

私は、季節を感じることは、人が生活をする中でとても大切なことだと思っています。こういった古い作りの家は、外の気候を受け、冬は寒く家の中の水も凍ったり、夏は暑さを直に感じます。

マンションでは寒い暑いと感じることが少ないのですが、この家では、天候の変化や季節の移ろいを感じるができます。現在は、イベントといった大規模なものではなく、季節を感じる行事で味噌作りや梅干しを漬けたりしています。

参加されるかたは、お知り合いが多いのでしょうか？

知り合いも多いのですが、ホームページやSNSで情報を得て、都心や都外からも参加者があり、お子さんを連れていらっしゃる方もいます。

参加者や子どもたちの反応は、いかがですか？

畳や障子、縁側を備えた家なので大人には懐かしく、子どもには新鮮な環境ではないかと思っています。



ミモザのドライフラワーで作成中のハーブソルト

コロナ禍になり、集まることができなかった期間はどうしていましたか？

ちょうど、「二十四節気の営みを楽しむ」という企画を始めようとしたときにコロナ禍となり、ようやく最近になって動き始めました。二十四節気といっても何十年も前の気候と今の日本の気候は、ずいぶんと変わってきて

いるということがこの企画を通してさらにわかりました。例えば、10月23日は「霜降」ですが、今の10月末は、霜が降りるほどまだ寒くないですよ。昔は、それほど寒かったと昔と今の違いが感じられます。この企画を始めて、季節に敏感になってきた感じがします。

会社に勤めていたころは、外が暑いのか寒いかわからず、すごく鈍感だったと思います。季節に対して備えがあると身体もチェンジしやすいと思います。そこは、自分にとっても大切にしたいところです。

もともと二十四節気の営みなどに興味がおありだったのですか。それとも何かきっかけがありましたか？

子どもが生まれたことがきっかけでした。独身のころは、自分の身体と向き合うとか、誰かの健康を願うということはありませんでした。誰にとっても健康は大事だと改めて思いました。

そもそも調布との縁はどこから始まりましたか？

京王線沿いに縁があり、子どもができて、たまたま住み始めたことがご縁です。住んでみて緑が多いことや暮らしやすさに気付きました。公園が多く、大きな公園、小さな公園に徒歩で行くことができ、子どもと遊べる場所が多いなと思いました。

「もえぎ家」を含めて、このまちとどう向き合っていきますか？

一度始めたことなので、続けていきたいと思います。人とのつながりがここにはあるので、コロナ禍で会えないときがあろうとここでの取組はずっとなくなりません。これからもこの繋がりを大切にしていきたいと思います。

また、「調布子育て応援サイト コサイト」の動画専用チャンネルがあるのですが、昨年从那その動画制作を担当しています。これからは、イベントだけでなく、ふだん、忙しくしていると調布の自然に気づかないことが多いと思うので、調布の自然も自分の中の自然も掘り起こしていくことをやりたいと考えています。

曾根さんにとって、女性活躍とは何ですか？

あまり意識したことはないですね。女性活躍をやりがいに置き換えるなら「もえぎ家」をやっている中でここを使ってくれる人たちにしあわせな気持ちになってほしいと思います。私は、皆さんをサポートする側でいたい。人とかがわることを大切にしたいと考えています。

曾根さんにとって自分らしさとは何ですか？

家庭、地域、仕事と場面ごとに私の役割が違うので、その場その場で、その役割を果たすことが自分らしさだと思っています。

これから何かを始めようと考えている方に向けて一言、お願いします

「もえぎ家」は、計画性をもって始めたことではありません。皆さんも、まずは、やってみようという気持ちが大事だと思います。気軽に始めてみて、上手くいくことばかりではないけれど、やってみて欲しいと思います。やっていくうちに困難も楽しめるようになるし、自分を客観視できるようになりました。

編集後記

「起業」と聞くと大掛かりなイメージを描きますが、曾根さんのように自然体でいくつもの仕事や役割を担う働き方は、これからの生き方のヒントが詰まっていると感じました。



藍染の布

藍染めに使う仕込み中の藍

